

別添 1

(様式第 3 号)

平成 2 9 年度 租税教育事業実績報告書

委 嘱 校 名	日南市立南郷中学校
所 在 地	〒 8 8 9 - 3 2 0 4 電話番号 0 9 8 7 - 6 4 - 0 2 2 3 宮崎県日南市南郷町中村乙 6 0 0 8 番地
ふりがな 校 長 名	おおき よしひこ 大木 賢彦
ふりがな 担当教諭名	いわくら ひろかみ 岩倉 博文
<p>1 租税教育の成果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 租税教育を通して、税の基本的な考え方や役割について理解し、税の大切さや社会にとって必要な制度であることを理解することができた。</li><li>○ 1 学期に日南税務署の方を招き、全校生徒対象の第 1 回租税教室を実施した。D V D 視聴や基礎講座に○×クイズを取り入れることで生徒の関心を高めることができた。また、夏季休業中の課題として 3 年生を対象に租税作文に取り組みさせることで、より深く税について考える機会を設けることができた。</li><li>○ 夏季休業中に職員対象の租税教育研修に取り組んだ。税に関する簡単な基礎講座に始まり、ライフスタイルに合わせた具体的実践例（贈与税、相続税など）を取り入れたことから職員の評価も高かった。</li><li>○ 3 学期には、3 年生対象に市役所の税務課の方 2 名をお招きして、本校職員と T T の授業を行った。ワークショップ形式のグループ活動を取り入れることで生徒が生き生きと活動する姿が見られた。</li></ul> <p>2 租税教育についての反省</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 租税教育委嘱校 1 年目で本年度は、前年度までの委嘱校の取組を参考に租税教育を進めてきた。季節的な取組になり、活動が継続的なものにならなかった。</li><li>○ 社会科学習の中で幅広く税に関する歴史や意義を学ばせる必要があった。</li><li>○ 職員への意識啓発が足りず、社会科教諭中心の活動に終始してしまった。</li></ul> <p>3 租税教育についての今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 3 年間を見通した租税教育の活動を行う必要がある。</li><li>○ 他教科との連携を図り、教育活動全体で租税教育に取り組む必要がある。</li><li>○ 税に関する情報発信を積極的に行うことで、生徒の興味・関心を高める必要がある。</li></ul>	

(注) 1 6 月に開催される校長・担当教諭会の資料として活用する。

2 1 年間の実績を A 4 判、1 0 枚程度にまとめること。

3 2 部作成し、4 月末日までに地区協議会会長（事務局）を經由して中央協議会会長に提出する。

(その他)

## 租 税 教 育 事 業 実 績

実施年月日	事 項	内 容
H 2 9 年 4 月 1 0 日	租税委嘱状交付式	○日南税務署長が来校し、委嘱状の交付式を行う。
H 2 9 年 4 月 1 9 日	年間計画作成、提出	○年間計画を作成し、提出する。
H 2 9 年 5 月 1 9 日	校長・担当教諭会	○校長・担当教諭会 職員研修で共通理解を図った。
H 2 9 年 6 月 1 5 日	第 1 回租税教室	○日南税務署より講師を招いて全校生徒を対象とした租税教室を実施した。 (講師：溝辺 利秀 氏)
H 2 9 年 7 月 2 1 日	租税作品募集	○夏休みの課題として、3年生を対象に作文を募集する。
H 2 9 年 8 月 4 日	職員対象租税教育研修会	○夏季休業中の職員研修に日南税務署より講師を招いて租税教育研修を実施した。 (講師：奥田 辰幸 氏)
H 2 9 年 8 月 2 4 日	租税作品審査	○租税作文の校内審査を行う。
H 2 9 年 9 月 1 日	租税作品提出	○優秀作品(3編)を提出する。
H 2 9 年 1 1 月 1 2 日	租税作品校内表彰	○優秀作品の表彰を担当の方が来校されて校内で実施した。 (受賞者3名)
H 3 0 年 1 月 1 5 日	第 2 回租税教室	○日南市役所より講師を招いて3年生を対象とした租税教育授業を実施した。 (講師：徳井 忠次 氏) (講師：大島 みなみ 氏)
H 3 0 年 3 月下旬	年間活動のまとめ 次年度の年間計画立案 実績報告書の作成	○租税教育の成果・今後の課題等をまとめ、来年度の年間計画の立案を行った。 ○実績報告書作成した。